

団体名	香川大学						
事業名	「ハラル食」を通じた国際理解の推進						
実施期間	平成30年7月21日～平成31年3月31日						
場 所	香川大学内ほか						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	15	6	74	51	69	16	231名

### <実施内容>

#### 1. ハラル食等に関する講習会

(1)「高松国際夜市2018」でポスター掲示及びチラシを配布し、ハラル認知度向上のための広報活動を行いました。

(2)地元高校からインターンシップ生を受け入れ、ハラルに関する講習をするとともに、オープンキャンパスで掲示するポスターを作成し、オープンキャンパスに参加した高校生に向けて広報活動を行いました。

(3)ハラル・ジャパン協会代表理事を招き、本学学生向け講演会と学内教職員向けの講演会を実施しました。

#### 2. ハラル食作りの実践及び試食会

(1)留学生が住む寮の近隣住民との交流も兼ね、ハラルのだしを用いたそうめんとハラルの海苔を用いたおにぎりを一緒に作って食べながら、国際理解を進めました。

(2)地域の小学生を対象に留学生が講師となってハラル餃子作りをし、交流しながらハラルへの理解を深めました。

#### 3. ハラルレストラン(うどん店)のマップ等の作成

県内讃岐うどん店のうち、ハラル醤油を持参すれば麺を提供してくれるハラルうどん協力店のマップをハリシプロジェクトの学生が作成し、配布しました。

### <記録写真>



ハラル・ジャパン協会代表理事による講演



留学生寮での流しそうめん



ハラル餃子作り

### <参加者からのコメント>

中村香月さん(日本)/Mr. Kazuki NAKAMURA (Japan)

私は主にうどんマップ作りとハラル餃子作りでハラルの行事に関わった。うどんマップではハラルとは何かをお店の人に伝えなければならなかったため、自分できちんと説明できるようにハラルについて理解する必要があると感じた。おかげで当初は無いに等しかったハラルについての知識を着実に増やすことができたと思う。また、ハラル餃子作りでは実際にイスラームの方々と関わることができ、ハラルの実態を肌で感じることもできた。イスラームの方々が日本で生活するにあたって困っていることやハラル食品についてなど、生の意見を聞くことにより、ハラルへの関心がさらに深まった。これからもイスラームの方々との関りは必須であるし、互いに助け合うことは必要であると考えてるので、もっと多くの交流をしたいと思った。

アズルルさん(マレーシア)/Mr. RABBANI FITRI BIN NA AZRUL (Malaysia)

香川大学生のアズルルです。2年間香川大学上之町国際寮に住んでいます。色々お世話になっております。香川大学ではハラル関連行事をいつもいただけて本当に感謝しています。ハラルの定義には大きな意味がありますが、簡単に説明したら、ムスリムにはハラル食べ物は酒や豚肉が入っていないものやハラル肉などの食べ物です。最近香川大学だけではなく他の店もハラルについてよく知っていますので、ムスリムの人達にとって生きやすい環境になっていると思います。それはこのようなハラル関連行事のおかげで、香川大学の周辺だけではなく、高松の周辺にいい影響があります。このような行事を続けるべきだと思います。